

教育民生常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和2年11月24日（火） 午後1時 ～ 午後3時30分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 5名のうち出席者 5名			
出 席 委 員	委 員 長	中 屋 康	委 員	岩 井 優之介
	副委員長	村 井 眞菜	委 員	酒 井 祥成
	委 員	緒 方 正綱	委 員	
説 明 者	健康福祉課	課 長 長森伸一	町 民 課	課 長 本山桂三
	生涯学習課	課 長 林 瑞穂		
傍 聴 者	な し			
付 議 事 件	1. 陳情第1－22号 四万十町に人工芝の多目的グラウンド建設を求める要望書の継続審査について			
	2. 陳情第2－6号 「妊産婦医療費助成制度創設」を求める陳情書審査について			
	3. その他（委員会視察研修について）			
審 査 ・ 調 査	1. 生涯学習課長に執行部のその後の動きを聞く。窪川高校のグラウンドを併用、			
	拡張して用地を確保する案について、県の関係課に打診することについては、			
	まだ具体的に問い合わせをしてない旨の報告を受けた。			
	委員から、一定の結論を出す上での材料として県の所管課に問い合わせべきと			
	して再度申し入れをして、引き続き継続審査をしていくことにした。			
	2. 前回の委員会審査に於いて健康福祉課に調査依頼をしていた、本町で制度を創			
	設した場合の予算概要、実施している他県の予算概要、制度の導入に対する本			
	町の現状を健康福祉課長から聞いた。			
	予算としては、前年度の国保利用妊婦を参考に試算した額は232万円から			
	462万円前後、助成額は導入している自治体により違っているとのこと。			
	本町の考えとして、「子育て支援活動（令和2年度）」により妊婦一般検診・通			
	院費助成や子育て世代包括支援センター設置し、産医療機関が遠いため相談体			
	制を強化することで、現在のところ医療費助成制度の創設は考えていない旨の			
	答弁があった。委員から高知県の動きや県議会、他町村の要望書に対する動き			
	も含めて更に精査する必要ありとの全員の意見で継続審査にすることにした。			
	3. 県内の福祉・教育関係の施設研修を計画していたが、これからの任期期間や取			
	りまとめのスケジュール等を考慮して計画を取り止めることに決定した。			
報 告 日	令和2年11月25日（水）	委員長署名	中 屋 康 	